

留学計画 タイトル	教育×ICT いじめ解決に向けてフィンランドに学ぶ		
大学名等	佐賀大学 教育学部	学 年 (採用時)	3 年
採用年度	2019年度	留 学 期 間	3ヶ月間 (2020/01/07~2020/03/16)
留 学 国	フィンランド	留 学 先 機 関	ユバスキュラ大学
事前・事後インターンシップ先機関	株式会社 オプティム		

留学について

目的：

ICTが教育に活用される中で、現在いじめ問題になっている「いじめ問題」に対しても解決を目指す手段の一つとしてICTが活用できるのではないかと考える。そこで、教育にICTを積極的に活用し、フィンランドのいじめ防止プログラムである「KiVaプログラム」でもICTを活用したフィンランドで、教育やICTに関する知見を深めることを目的とする。

活動内容：

- ユバスキュラ大学(教育学部)での授業履修:3ヶ月
 - ・フィンランドの教育観や教育制度について理論的に学習する
- 小学校での授業参観:2ヶ月
 - ・実際の授業を見学
 - ・現地の先生にインタビュー
- 教育サミット Bett Show に参加:2日間
 - ・教育×ICTに関する最新の情報を入手
 - ・各企業の教育テクノロジーに関する出展を見学



ロシア人のルームメイト



小学校での授業の様子

成果：

留学を通して、私はフィンランドの教育に対する考えや教育ICTに関する知見を深めることができた。具体的には…

①フィンランドの教育

フィンランドには教育は未来への投資と考えており、日本と比較して教育に対してお金をかけることは勿論、教育は国が成長するための大切な要素であるという考えが根付いていた。それゆえに、教育へのテクノロジーや教育の質の高さが保証されているのだとわかった。

②教育ICT

実際に授業を見学したり、最先端のテクノロジーに触れたりしたことで、フィンランドではテクノロジーを積極的に活用し、それを子供達の学びへと還元する仕組みがきちんと整えられていた。教育のICT化が遅い日本とは異なり、フィンランドでは子供たちの将来を考えてICTを教育へ積極的に活用していた。

これらの学びで得たことは、現在の私の研究へと繋がっている。フィンランドで得たこれらの学びから、ICTを活用していじめ問題を解決する手法を開発できるよう努めていきたい。

伝えたい事：後輩たちへ

私自身、周りが就職活動や教員採用試験に向けて勉強する中で、留学するという選択肢を選びました。その理由としては、「海外で学んでみたいという気持ちがあるのに、このまま卒業してよいのだろうか」と思ったからです。今は、その決断をしてよかったと心から思えます。海外で学んだからこそ、今の進路にも繋がりました。少しでも留学に興味があるのなら、ぜひ行動してみてください！

伝えたい事：支援企業の皆様へ

支援企業の皆様のご支援により、このような貴重な機会を得ることができました。また、インターンシップにおいても様々な経験をさせていただきました。今後は、この留学およびインターンシップで学んだことから、教育×ICTによる教育問題の解決に向けて研究を進めていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

事前・事後インターンシップ

受入機関名	株式会社 オプティム
期 間	事前： 2019/8/2 ～ 9/26 (10日間) 事後： 未実施
内容：	子どものプログラミング教室のサポート オプティムの農業×ICTの体験 社会問題をICTで解決するためのアイデアのプレゼン